

## 市川中学校 国語科の目指すもの

多様な表現場面に対応できる言語感覚  
を養う

そのために…  
→たくさん読み、たくさん表現する

### 本文の種類について

説明的文章

文学的文章

漢字問題

### 以下の力を見ます

- ・読む力=インプット(読解)  
→何が言いたいのかを読み取る
- ・書く力=アウトプット(解答)  
→条件にそって答える
- ・知識(漢字等)
- ・限られた時間を意識できるかどうか

### 設問について【選択肢】

#### ・第1回、第2回とも

選択肢の問題を多く出題する

選択肢の字数が多い

#### ・対策:選択肢の解き方を把握しよう

ポイントは2つ

1 本文中から答えとなる文を発見しよう

2 選択肢を分割して考えてみよう

### 教科が大切にしていること

- 規則性を見つけること  
⇒ 式や図形の中に法則性、規則性を見つけて表現する
- 比べること  
⇒ 等号や不等号で2つの“モノ”を比較する
- 次元をとらえること  
⇒ “モノ”を構成している要素を見つける
- みなすこと(定義すること)  
⇒ 同じものとする + “モノ”に名付けをする

### 書き取り問題の注意

「美しさ」より「丁寧さ」が大切

#### ◎ 採点方法

文化庁の指針に基づいて採点します

『常用漢字表の字体・字形に関する指針』

### 数学の取り組み

- ・ジュニア数学オリンピックなど競技数学へのサポート  
→ 放課後、定期的にゼミを開講
- ・数学博物館の開設  
→ 幾何の模型や数式を体験できる模型などを展示

### 設問について【記述】

#### ・第1回、第2回とも

100字以下の記述問題を出題予定

#### ・対策:記述の解き方を把握しよう

ポイントは2つ

1 本文中から答えとなる文を発見しよう

2 記述すべき事柄は必ず複数ある

・記述問題は部分点あり→必ず挑戦を！

### 今年度の入試について

- ① 解答時間 50分
  - 大問で5問程度
  - ・問題の難易度を把握して時間配分を考える
- ② 計算、図形、読解分野など様々な分野から出題
- ③ 計算力、説明する力、式や図形を見る力を付けておく
- ④ 定規については直線定規のみ(折り畳み式などは不可)

### よくある質問①

#### 漢字で書かないとダメですか？

- 原則「漢字で答えなさい」の指示がある。  
例) 推古・高麗・水野忠邦
- 「漢字で答えなさい」の指示がない場合は?  
例) 日ソ中立条約・大化の改新  
→「全てを漢字で書けないこともある」  
漢字で書ける所は必ず漢字で書くようにして下さい。

2023年度  
大問1 問3

6世紀以降は倭の五王の時代と異なり、  
大王は中国の皇帝に対して倭王の称号を  
求めなくなりました。それはなぜですか。  
**資料1・資料2を参考にして説明しなさい。**

まずは「読み解力」が試される。

- ①**メインの問い合わせ**は何か?  
②**付随する条件**は何か?

2つに問い合わせに「応え」  
ながら答えて下さい。

※条件...「資料を参考にして」「資料をふまえて」など

### よくある質問②

#### 時事問題は出ますか？

直接的な問題はごく少数なので、  
特別な対策は必要無い

- 直接的な出題のパターン  
例) カーボンニュートラル（大問3問6）
- 間接的にテーマとなっているパターン  
例) 日中関係をテーマにした歴史の問題（大問1）  
→2022年日中正常化から50周年  
日露（ソ）関係をテーマにした歴史の問題（2）  
→ロシアによるウクライナ侵攻

特別

#### 出題が予想されるテーマ

歴史…社会経済・産業など

地理…自然災害など

公民…政治・憲法など

### よくある質問③

#### 記述問題はどうしたらよいですか？

- 歴史、地理、公民各分野に必ず出題。
- 配点高め、部分点ある。
- 字数指定はないことが多いので、解答欄の枠内に収まるように書く。
- “とりあえず知っていることを書く”はダメ

アドバイス① →あいまいな知識を“使える知識”に昇華

#### 正確な知識を身につける

記号選択問題がある。  
正誤問題・組み合わせ問題など、単純ではない。

例)

#### 選択肢例（大問1問6）

- a.できごとの説明文  
b.できごとの説明文  
c.できごとの説明文
- ア.a正b正c正 イ.a正b正c誤  
ウ.a正b誤c正 エ.a誤b正c正  
オ.a正b誤c誤 カ.a誤b正c誤  
キ.a誤b誤c正 ク.a誤b誤c誤

アドバイス②

#### 偏りのない学習をする

公民の失点が目立つ傾向  
→学習が後回しになります。

昨年度 得点率40%未満の問題数（割合）

- |            |               |
|------------|---------------|
| ①歴史（古代～近世） | 2 / 12問 (16%) |
| ②歴史（近代・現代） | 1 / 8問 (12%)  |
| ③地理        | 2 / 8問 (25%)  |
| ④公民        | 4 / 6問 (67%)  |

アドバイス③

#### 繊密な学習をする

昨年度4教科

合格最低点

255点 / 400点満点

260点
259点
258点
257点
256点
255点
254点
253点
252点
251点
250点
⋮

「1点の重み」を意識しながら

→過去問の演習・研究を通じて  
残りあと3ヶ月、一層繊密な学習を！

## 入学試験の出題意図

一般的な**基礎知識**、観察・実験の結果から考察し本質を見抜く**論理的思考**、およびそれらを相手に伝える**表現力**を問います。



- 単純に**知識**を問う問題
- 計算**問題
- 記述**問題
- リード文や図表から**論理性**を問う問題

からなります。

## 出題について

- 試験時間は40分、100点満点。
- 大問は**4題**  
化学分野1 物理分野1  
地学分野1 生物分野1
- 小問総数は25～30題です。

## 問題内容

- 時間のかかる問題、かかる問題は存在します。
- 実験や観察をもとにした出題が多いです。
- 各大問、基本→標準→応用となります。
- 標準レベル**の出来が決め手となります。
- 問題文の量は昨年と大きく変わりません。

油の密度を正確に求めるために、必要な操作はどれですか。すべて選びなさい。

- ア ピーカーのみの重さをはかった。  
イ メスシリンダーのみの重さをはかった。  
ウ 油を入れたピーカー全体の重さをはかり、ピーカーの目盛りを読んだ。  
エ 油を入れたメスシリンダー全体の重さをはかり、メスシリンダーの目盛りを読んだ。

## 対策

- 標準的な問題集**で基礎用語+典型的な計算問題をトレーニング。
- 数年分の**過去問**で慣れる。
- 記述は、**採点者に伝わる正確な語**、文章で（部分点はありません）。
- 問題文をよく読む。
- 解ける問題から解く。
- 得意分野で稼ぐ作戦もあり。